

平成27年度における市民等との連携 のための活動実施状況

広島湾再生に向けた連携についての意見交換会、漁礁プロジェクトの開催

意見交換会の目的

広島湾再生の取り組みの展開
…行政だけでは限界



(最終目標)
NPO等による広島湾の保全・再生のための自主的な取り組みへの移行



意見交換会のねらい:

広島湾の保全活動を実施する団体の増加や、各主体の連携・協働による活動の促進につながるようなパートナーシップづくりに向けた連携策について話し合う。

意見交換会の開催経緯

<平成26年度>

第1回意見交換会(H26.7.17)

多様な主体の参画による市民参加型活動の実施について

○具体的な連携イベントのテーマ内容等

プラットフォームづくりについて

○プラットフォームのあり方等について

第2回意見交換会(H26.8.19)

具体的な連携イベントについて

○具体的な連携イベントの企画、実施方法について

プラットフォームづくりについて

○プラットフォームのあり方等について

第3回意見交換会(H27.2.5)

各主体の連携・協働による理念(案)について

○全員が共有できる形の理念づくり

理念(案)に基づく具体的な活動方針について

○共通のプラットフォームづくり
○個別のプロジェクトの検討

第4回意見交換会(H27.3.12)

個別プロジェクトの具体的な進め方について

○個別プロジェクトの決定
○平成27年度以降の進め方、スケジュールについて

間伐材等による魚礁づくりプロジェクト

H27年度より、具体的なプロジェクトを立ち上げることを決定

<平成27年度>

第1回意見交換会(H27.7.8)

漁礁づくりに向けてクリアすべき課題について

第1回漁礁づくりPT(H27.8.4)

漁業者からの話題提供(漁礁づくりについて)

第2回漁礁づくりPT(H27.12.4)

間伐材、廃材等を用いた漁礁づくりのコンセプト

第3回漁礁づくりPT(H28.1.7)

間伐材、廃材等を用いた漁礁づくり計画(素案)

意見交換会、漁礁プロジェクト参加メンバー（NPO、市民団体等）

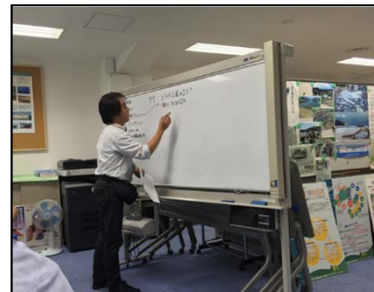
意見交換会

会場：EPOちゅうごく

<平成27年度第1回意見交換会(H27.7.17)>

団体名	備考
ひろしまジン大学	
エコロジー研究会ひろしま	
NPO法人 自然環境ネットワークSAREN	
NPO法人 さとうみ振興会	
NPO法人 ひろしまNPOセンター	
(一財)広島県環境保健協会 地域活動支援センター	
広島県釣りインストラクター連絡機構	
(公財)日本釣振興会広島県支部	
広島連塾Sus☆テラス	
NPO法人 もりめイト倶楽部Hiroshima	
京橋川かいわいあしがるクラブ	
NPO法人 ゆあーず「食」未来研究所	
EPOちゅうごく「環境省中国環境パートナーシップオフィス」	ファシリテーター

※ひろしまジン大学、広島連塾Sus☆テラス、ゆあーず「食」未来研究所はご欠席
※広島県環境保健協会は、情報提供のみの参加



開催状況

漁礁づくりプロジェクト

会場：EPOちゅうごく

<第1回会合 (H27.8.4)>

団体名	備考
エコロジー研究会ひろしま	
NPO法人 自然環境ネットワークSAREN	
広島県釣りインストラクター連絡機構	
NPO法人 もりめイト倶楽部Hiroshima	
京橋川かいわいあしがるクラブ	
EPOちゅうごく「環境省中国環境パートナーシップオフィス」	ファシリテーター
漁業関係者(元丹那漁業協同組合 組合長)	話題提供

<第2回会合 (H27.12.4)>

団体名	備考
NPO法人 自然環境ネットワークSAREN	
EPOちゅうごく「環境省中国環境パートナーシップオフィス」	ファシリテーター

<第3回会合 (H28.1.7)>

団体名	備考
NPO法人 自然環境ネットワークSAREN	
NPO法人 もりめイト倶楽部Hiroshima	
京橋川かいわいあしがるクラブ	
EPOちゅうごく「環境省中国環境パートナーシップオフィス」	ファシリテーター

理念（案）

（仮）～森・川・街・海のつながりを大切にし、私たちが世界に誇れる里海「広島湾」を目指す～

「森・川・街・海のつながりを大切にするが、広島湾の再生につながる」をテーマに、私たち市民が愛着を持って、自らの手で、豊かで親しみやすい、世界に誇れる里海「広島湾」づくりを行う。

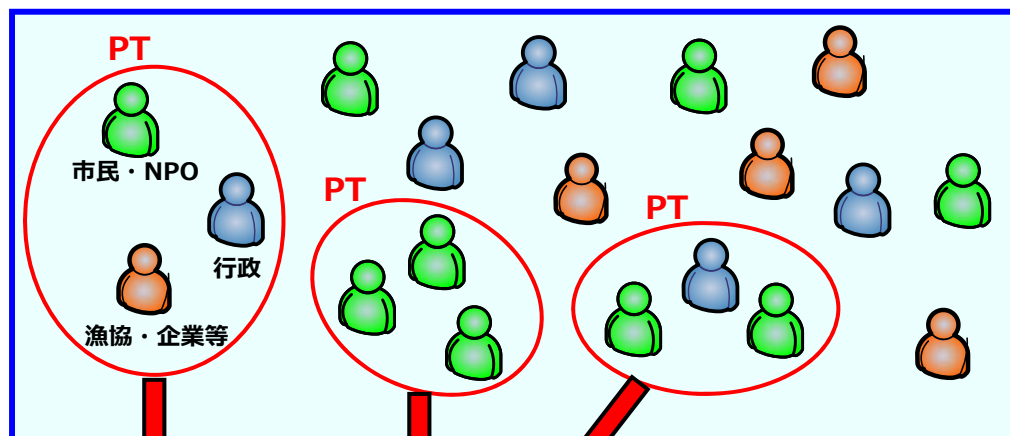
Step 1

まずは、共通の理念のもとで、多様な主体が広島湾独自の里海づくりを行うための情報共有や情報発信の場として、**共通のプラットフォーム**をつくる。

Step 2

プラットフォームに参加するメンバー（任意）が、**自分たちがやってみたい活動のテーマを決めてプロジェクトチームをつくり**、具体的な活動やイベントの実施に繋がっていく。

共通のプラットフォーム（＝情報共有、情報発信などの場）



PT（プロジェクトチーム：複数）

- ・興味のあるメンバーが任意でチームに参加。（途中からの参加もOK）
- ・必要に応じ、新たなメンバーもプロジェクトに追加。
- ・活動のテーマを決めて、具体的な活動やイベントを企画・提言。

【平成27年度のプロジェクトチーム】
・・・魚礁づくりPT

※PTはこれに限らず、今後やってみたいテーマがあれば適宜追加OK

森・川・街・海のつながりを大切にするためのプロジェクトを行いながら、将来的には市民も巻き込んだ里山・里海づくりを目指す。

都市部や島の方々が加わることによる、
他にはない、広島湾独自の里海づくり



～はつかいち環境フェスタ 2015～ 広島湾再生パネル展・漂着物からアート作品づくり <開催報告>

1. 開催の目的

広島湾再生推進会議は、広く一般の方へ広島湾再生に係る各機関及びNPO等団体の取り組みを紹介することを目的として、10月4日（日）に開催された「はつかいち環境フェスタ2015」に、「広島湾再生パネル展・漂着物からアート作品づくり」のブース出展を行いました。

今回の展示では、広島湾の環境を保全・再生するための様々な取り組みについて紹介するとともに、NPO法人自然環境ネットワークSARENと連携し、広島湾周辺で発生した海岸漂着物を使ったアート作品づくりも行いました。

2. 開催概要

開催日：平成27年10月4日（日）10:00～15:00

会場：ゆめ桜公園（ゆめタウン廿日市 横）

主催：はつかいち環境フェスタ実行委員会（廿日市市・広島県環境保全公社、廿日市市公衆衛生推進協議会）

展示概要

<漂着物からアート作品づくり>

◆NPO 法人自然環境ネットワーク SAREN による、広島湾周辺で発生した海岸漂着物を使ったアート作品づくり体験の実施

<クラフト、アシ舟、ごみアート>

◆間伐材を使ったクラフトや京橋川のアシを使ったアシ舟、漂着ごみを使ったアート作品の展示

<森・川・海の取り組み紹介>

◆NPO や行政による森・川・街・海の取り組み紹介
◆ごみトランクミュージアム、広島湾の海図などの展示

<広島湾再生行動計画の紹介>

◆広島湾再生行動計画の概要
◆広島湾「+1」宣言（第六管区海上保安本部の協力により、会場にて子どもたちに広島湾「+1」宣言を記入していただきました）

展示にご協力頂いた団体等

◆NPO 法人・市民団体等

自然環境ネットワーク SAREN、
瀬戸内里海振興会、
もりメイト倶楽部 Hiroshima、
京橋川かいわいあしがるクラブ

◆行政機関

中国地方整備局、
第六管区海上保安本部

※出展にあたっては、廿日市環境政策課に多大なご協力をいただきました。

3. 来場者

広島湾再生のブースには、チラシやクラフトワークを受け取った方も含めると、約 400 名の方にご来場いただきました。

また、漂着物からアート作品づくりの体験には、多くの家族連れが来場し、個性的な作品をつくりながら、広島湾の海岸漂着物の実態について理解を深めている様子でした。

4. 開催状況



展示ブースの全景



多くの方の来場で賑わう様子



広島湾再生行動計画の概要や取り組みについて説明を受ける来場者



広島湾「+1」宣言を記入する子どもたち



漂着物からアート作品づくり体験コーナー



間伐材クラフト作品と漂着ごみアートの展示



京橋川のアシでつくった「アシ舟」



広島湾再生行動計画の紹介



ごみトランクミュージアム



広島湾「+1」宣言



親子連れで賑わう漂着物からアート作品づくり体験コーナー